





Contents

環境経営責任者のメッセージ	2
ニデック環境管理推進組織図	3
企業概要	4
工場概要	5
企業行動憲章	6
環境方針	7
2011年度環境保全活動の目的・目標と設定趣旨	8
2010年度環境保全活動の目標と実績	9
工場の環境負荷概要	10 - 12
2010年度環境パフォーマンス	
CO2排出量 (参考: 浜町工場太陽光発電実績)	13
廃棄物量／PRTR法対象化学物質使用量	14
環境調和型製品のご紹介	15
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移	
電力／重油	16
市水／最終廃棄物	17
CSRに関する取り組み	18
報告書基本情報／お問い合わせ先	19



環境経営責任者からのメッセージ

はじめに、東日本大震災で亡くなられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。震災後の原子力発電所停止の影響による電力不足に対応するため、当社も夏季には従業員に対してクールビズを推奨するとともにエアコンの使用基準を見直すなど、より一層の節電に努めております。

さて、当社は、2000年12月にISO14001（環境マネジメントシステム）を取得して以来、環境に優しい事業運営を目指し、取り組みを続けてまいりました。節電を中心とする省エネ活動以外にも、環境への負荷を低減した製品の開発、最終廃棄物の再資源化の推進、太陽光発電の導入、エコ通勤の推奨など、さまざまな角度から工夫と努力を継続しております。また、会社全体で環境保全活動を推進し、その啓発を進める中で、従業員一人ひとりの環境に対する意識も年々高まりを見せています。



今年、おかげさまで当社は創立40周年を迎えました。今後も本業を通じて、より良い社会づくりや環境づくりに貢献できるよう、環境経営の推進に努める所存です。また、社会の要請に応えるべく、安全管理や品質の確保はもちろんのこと、コンプライアンスの徹底、社会貢献などの努力も継続してまいります。引き続き、皆様の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

本年度は次の4項目を中心に環境活動を推進しております。

1. 製品の環境調和：環境関連の法規制への対応を進めるとともに、エコ設計（環境配慮設計）に取り組めます。
2. 省エネルギー：原単位電力消費量を設定し、継続的な省エネを推進します。
3. 廃棄物削減・省資源：最終廃棄物を削減し、再資源化率の向上を目指します。
4. 環境社会貢献：CSR（企業の社会的責任）の観点から、地域・社会とのコミュニケーションを通じて、環境保全に貢献します。

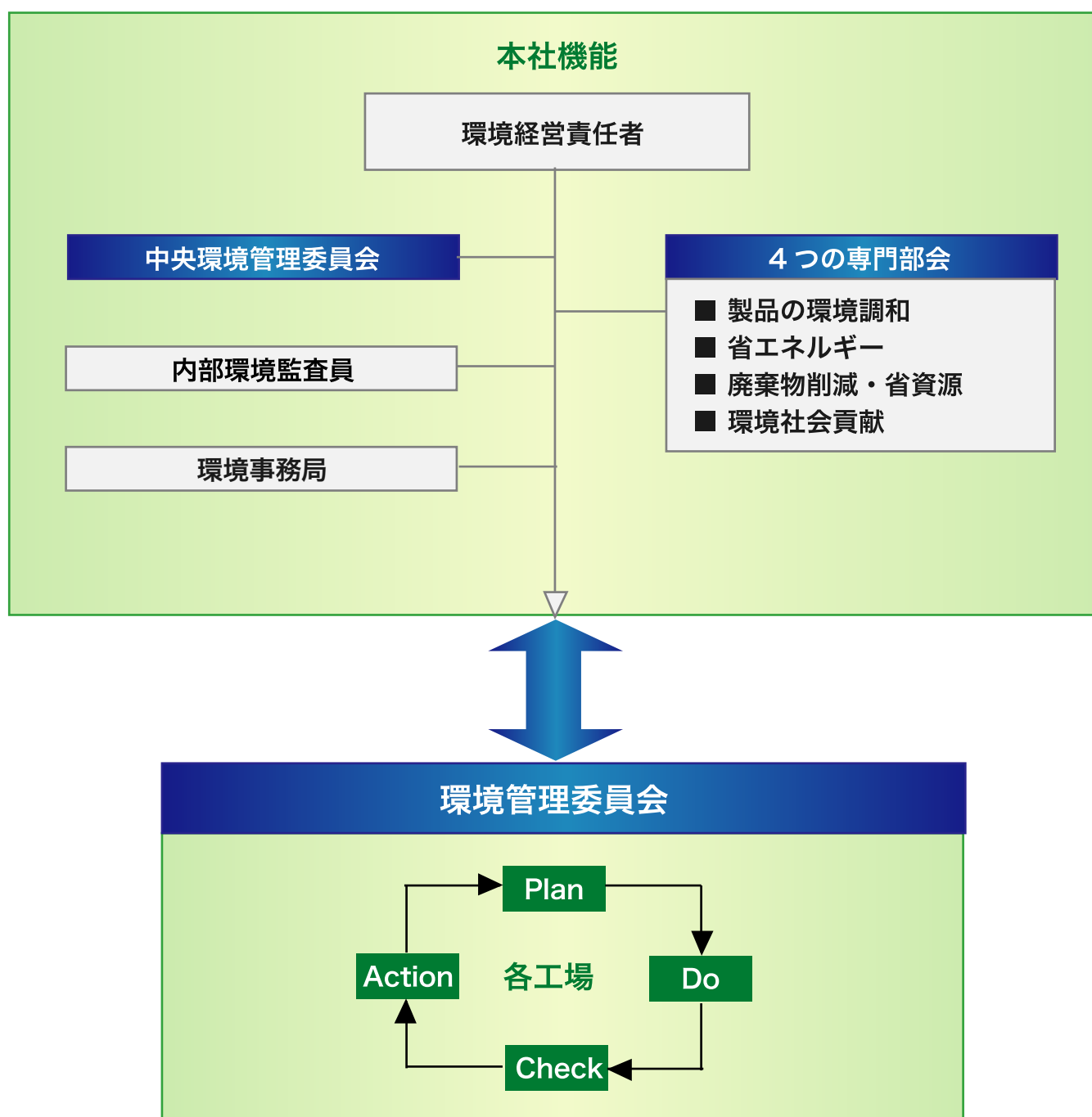
2011年10月1日

環境経営責任者
常務取締役
コート事業部長兼生産本部長
白井 康博



ニデック環境管理推進組織図

当社では、環境経営責任者の下に、中央環境管理委員会と4つの専門部会を設置しています。また、各工場に環境管理委員会を置き、工場毎に改善点を模索、PDCAサイクルをまわしています。工場毎の活動を中央環境管理委員会に報告し共有することで、全社をあげた改善を続けています。





企業概要

【会社概要】

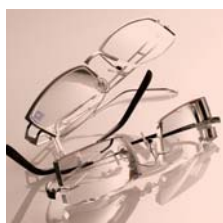
名 称	株式会社ニデック
本 社	〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34-14 Tel. 0533-67-6611
代 表 者	代表取締役社長 小澤素生
設 立	1971年7月7日（創業日8月8日）
資 本 金	4億6189万円
売 上 高	359.0億円（2006年度） 374.7億円（2007年度） 333.5億円（2008年度） 299.2億円（2009年度） 307.9億円（2010年度）
従業員数	1,383名（2011年3月末日現在）

【事業内容】



医療分野

高精度な眼科向け手術装置、レーザ機器、検査診断装置などの開発・製造・販売を総合的にこなっています。近年では、活躍の場を健診分野にも広げています。



眼鏡機器分野

視力測定、レンズ測定、レンズ加工といったメガネづくりの全工程を支えているのは、ニデックの“確かな技術”です。省スペース化、作業の効率化を実現し、見える喜び、かける喜びを感じていただくお手伝いをしています。

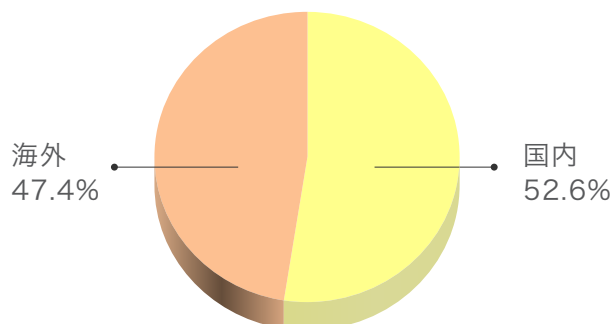


コーティング分野

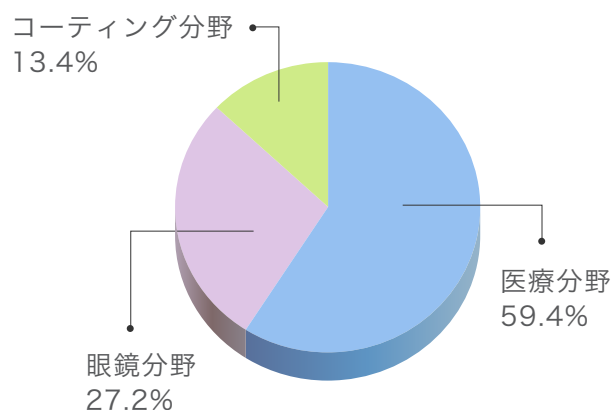
コーティングは、光学材料などへの反射防止や、特定波長だけを透過・反射させる“光を操る先端技術”です。メガネレンズをはじめ、情報通信・自動車・医療・宇宙工学など、多彩な分野で活用されています。

【2010年度データ】

■ 海外輸出比率



■ 売上構成比率





各工場概要

[本社(拾石工場)]



住所 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜34-14
環境管理責任者 総務部 担当部長 岩崎忠雄
敷地面積 28,372 m²
建物(延) 13,199 m²
従業員数 605名
設置 昭和51年

[東浜工場]



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町73-1
環境管理責任者 コート生産部 副部長 石井雅敏
敷地面積 13,155 m²
建物(延) 8,992 m²
従業員数 88名
設置 平成8年

[浜町工場]



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町67-4
環境管理責任者 医療/眼鏡機器製造部 部長 加藤眞吾
敷地面積 22,200 m²
建物(延) 13,326 m²
従業員数 308名
設置 昭和59年

[大沢工場]



住所 〒443-0104 愛知県蒲郡市形原町大沢27-4
環境管理責任者 コート事業企画室 室長 柴田芳宏
敷地面積 57,395 m²
建物(延) 11,032 m²
従業員数 127名
設置 平成12年

[鶴ヶ浜工場]



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町23-1
環境管理責任者 部品製造部 部長 植村克彦
敷地面積 14,820 m²
建物(延) 6,870 m²
従業員数 113名
設置 平成元年

敷地面積、建物(延)、従業員数：2011年3月31日時点
従業員数：役員、顧問、嘱託／パート／派遣社員を含む



企業行動憲章

ニデックは、いつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、「Eye & Health Care」を核とした事業をグローバルに展開するとともに、国内外の法令及びその精神の遵守はもとより、高い倫理観と公平性をもって行動し、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

1. 人権の尊重

全ての人々の人権を尊重し、差別的な取扱いや個人の尊厳を損なう行為をしません。
また、児童労働や強制労働を認めません。

2. 透明性の高い企業活動の推進

様々なステークホルダーとのコミュニケーションを図るとともに、適宜適切に企業情報を提供し、透明性の高い企業活動を推進します。

3. 製品・サービスの品質・安全確保

人々が健康で快適な生活を送るために、新しい価値の創出に努めるとともに、安全で高品質の製品・サービスを提供し、お客様の満足と信頼が得られるよう努力します。

4. 環境問題への積極的な取り組み

地球及び地域環境保全の重要性を認識し、循環型社会形成に寄与する改善活動を継続的に行います。

5. 社会との調和

良き企業市民として積極的に社会貢献活動の推進に努め、地域社会との調和を図ります。
また、海外においてはその文化や慣習を尊重し、地域の発展に貢献します。

6. 健全で快適な職場環境の実現

職場における社員の安全と健康を確保し、社員の経済的・精神的・時間的なゆとりと豊かさの実現に向け、働きやすい職場を形成します。

経営トップは、この企業行動憲章の精神を実現することが自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に周知徹底します。万一この企業行動憲章に違反する事案が発生した場合は、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止に努めます。

2007年4月1日

株式会社ニデック



環境方針

当社は、Eye & Health Careの担い手として医療機器等の製造、販売及び、サービス活動を展開している。企業の社会的責任と地球及び地域環境保全の重要性を認識し、循環型社会形成に寄与する改善活動を継続的に行なうものとする。

1. 事業活動に伴う環境側面が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的、及び目標を定め、全社員で取組み、環境負荷の低減及び地球温暖化防止を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
環境目的、及び目標は定期的に見直し、必要に応じ改定する。
2. 環境に係わる法律、規制、条例を順守し、利害関係者の意見を尊重する。
3. 事業活動、製品の製造、及びサービスが環境に与える影響を考慮し、特に次の事項について重点的に環境保全活動を推進する。
 - (1) 製品の環境調和
主力製品から、指定有害物質の排除を促進するとともに、グリーン調達を推進する。
 - (2) 省エネルギー
エネルギー消費の少ない製品設計、及び生産プロセスの導入等により省エネルギーを推進する。
 - (3) 廃棄物削減・省資源
資源の有効利用を図るとともに、本来の「ゼロエミッション」を推進して廃棄物等の総排出量の削減も図る。
 - (4) 環境社会貢献
CSRの観点から、環境情報の公開と、地域・社会とのコミュニケーションを通じて、環境保全に貢献する。
4. 環境教育、社内広報活動等により全社員の環境方針の理解及び環境保全に対する意識の向上を図る。また、関連会社に対し理解と協力を求める。

この環境方針は、社外からの要求に応じ公開する。

2010年8月23日
株式会社ニデック
環境経営責任者
白井 康博

第10版



2011年度環境保全活動の目的・目標と設定趣旨

当社は、ISO14001を取得しており、事業活動全体において、継続的な環境保全活動を展開しています。環境調和型製品の開発、製造、販売に努めるとともに、省エネルギー、廃棄物削減による環境汚染の防止や資源の節約、循環資源化の促進などに力を入れ、その成果は確実に現れてきています。また近年は、環境保全、社会貢献活動にも力を入れています。

	2011年度の目的	2011年度の目標
製品の環境調和	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の推進	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の検討及び実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の推進(医療機器、眼鏡機器)
省エネルギー	▶ 原単位電力消費量削減(2012年度までに、2009年度比、3%削減)	▶ 売上比原単位電力消費量削減(2009年度比、2%削減)
廃棄物削減・省資源	▶ 廃棄物総排出量削減(2012年度までに、2009年度比、10%削減)	▶ 各サイト設定原単位廃棄物排出量削減(2009年度比、7%削減)
環境社会貢献	▶ CSRの観点から環境情報の公開と地域・社会とのコミュニケーションを通じて環境保全に貢献する	▶ 社会貢献活動の継続 ▶ 環境報告書の内容吟味 同報告書作成と社員への啓蒙



2010年度環境保全活動の目標と実績

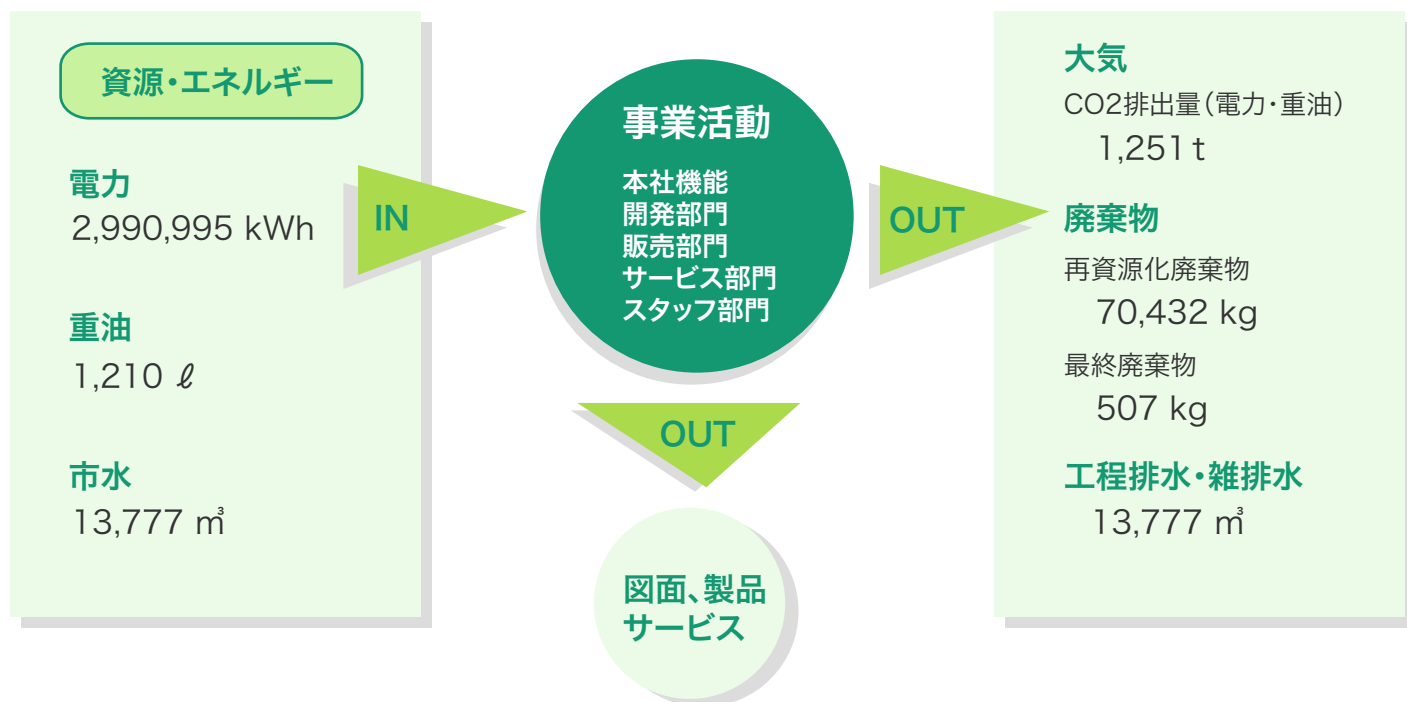
2010年度の目標と、活動の実績です。

	2010年度の目標	活動実績
製品の環境調和	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の調査	▶ 医療・眼鏡製品に関して、フマル酸ジメチルのEU禁止指令を受け、当該物質の非含有証明書を発行 ▶ コーティング製品に関して、取引先からの要望に対し、REACH規制、RoHS規制への適合データを提供 ▶ 製品設計段階における、製品の製造から廃棄までを考慮し、環境負荷を低減させるための製品アセスメントガイドラインを入手・レビューし、当社製品アセスメント手順へ展開
省エネルギー	▶ 売上比原単位電力消費量削減(2009年度比、1%削減)	▶ 原単位達成状況 実績:0.859 kwh/千円 達成度:100.7% ▶ 電力モニターシステムによる電力需要の管理 ▶ 各工場の省エネ対策 ・ 蛍光灯を省エネタイプに順次交換 ・ エアコン入れ替え及びフィン掃除 ・ 高効率エアコンプレッサーに入れ替え ・ 未稼動時の冷却水停止 ・ 蒸着装置のヒーター電力削減 ▶ 東浜工場再編工事による省エネ効果
廃棄物削減・省資源	▶ 各サイト設定原単位廃棄物排出量削減(2009年度比、4%削減)	▶ 原単位達成状況 実績:0.008 kg/千円, 達成度:119.6% ▶ 有価物化の推進 ・ 拾石工場の社内郵便室で機密書類のシュレッダー化を実施 ・ 大沢工場のPETロール(糊つき)排出物の有価物化を実施
環境社会貢献	▶ 社会貢献活動の研究と提案 ▶ 環境報告書の項目精査後、データ更新・公開	▶ 環境報告書記載項目の選定完了 ▶ 2010年10月より、全国の支店からエコキャップ回収開始 ▶ 2010年度のエコキャップ回収は141,544個(ワクチン約177名分)で昨年に比べ1.8倍



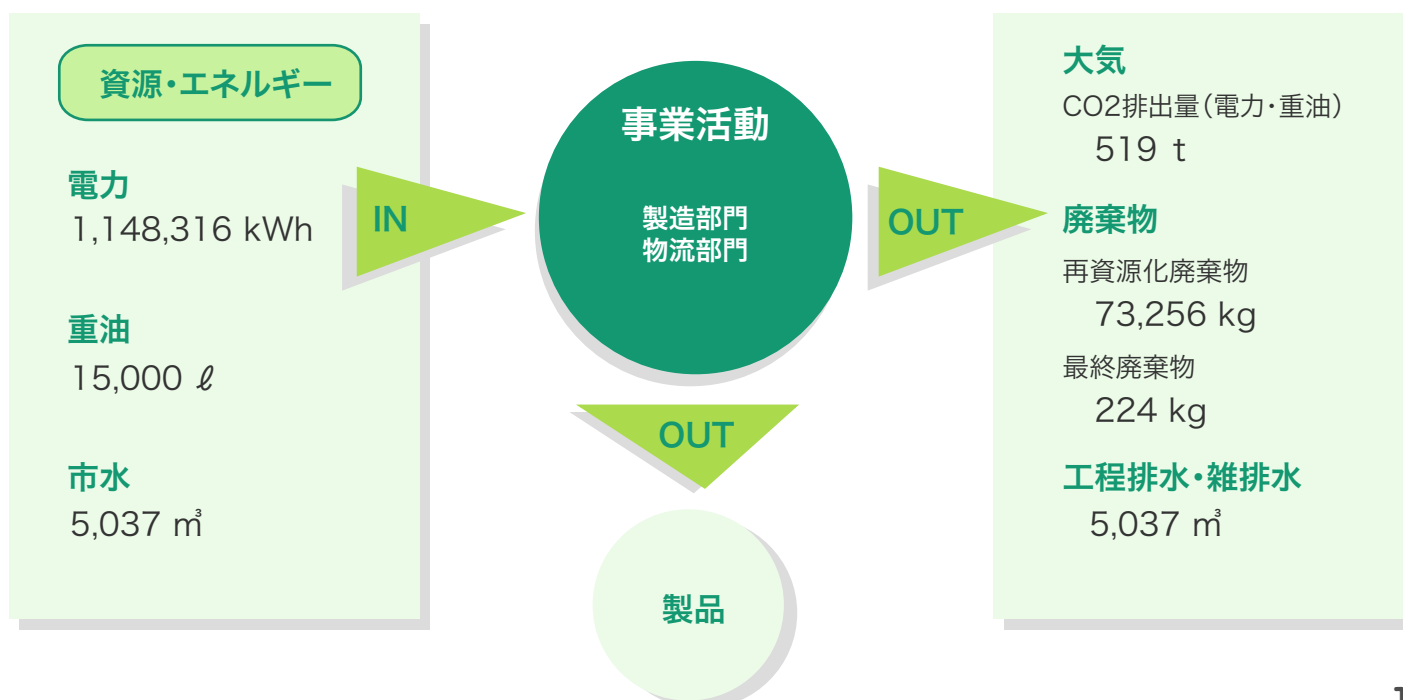
[本社(拾石工場)]

会社運営における本社機能を中心に、主に開発部門、一部の製造部門、販売部門、サービス部門、スタッフ部門が業務を展開しています。



[浜町工場]

製品の部品購入、組立、部品や製品の検査、および物流の専門工場です。太陽光発電設備を備えています。

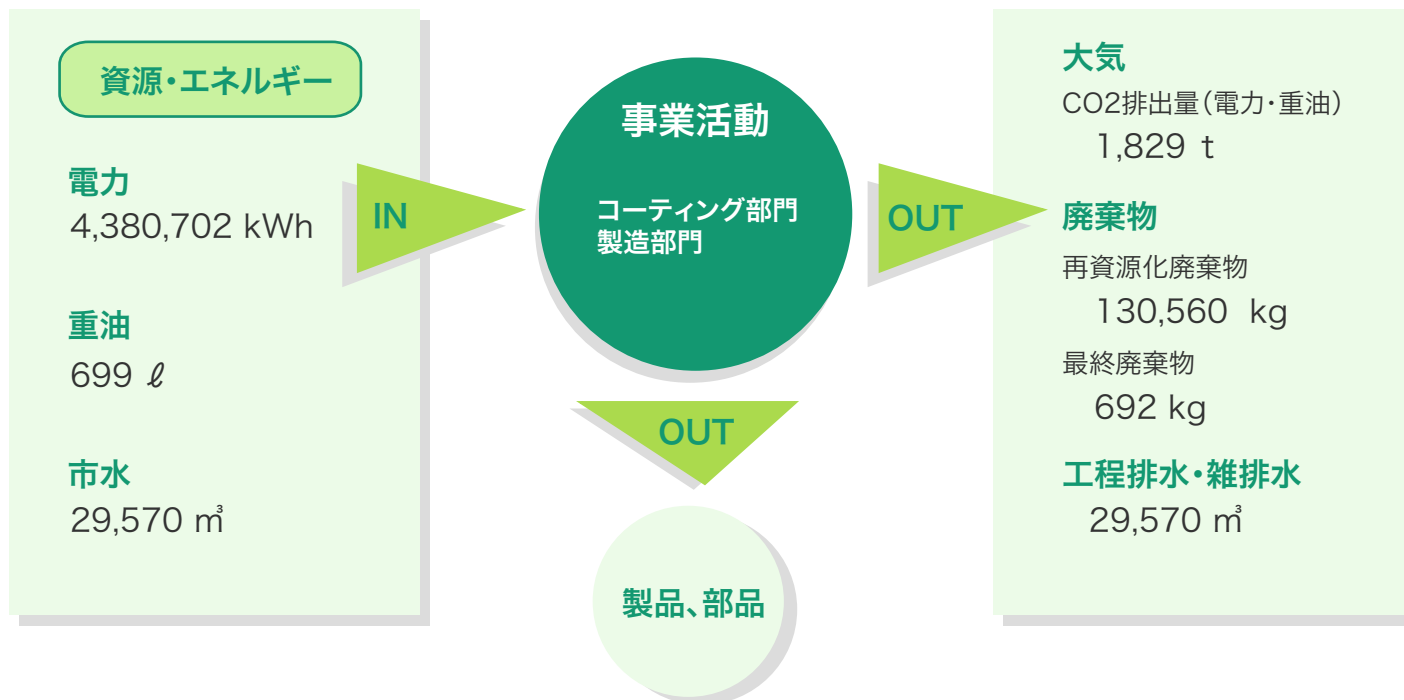




工場の環境負荷概要 鶴ヶ浜工場／東浜工場

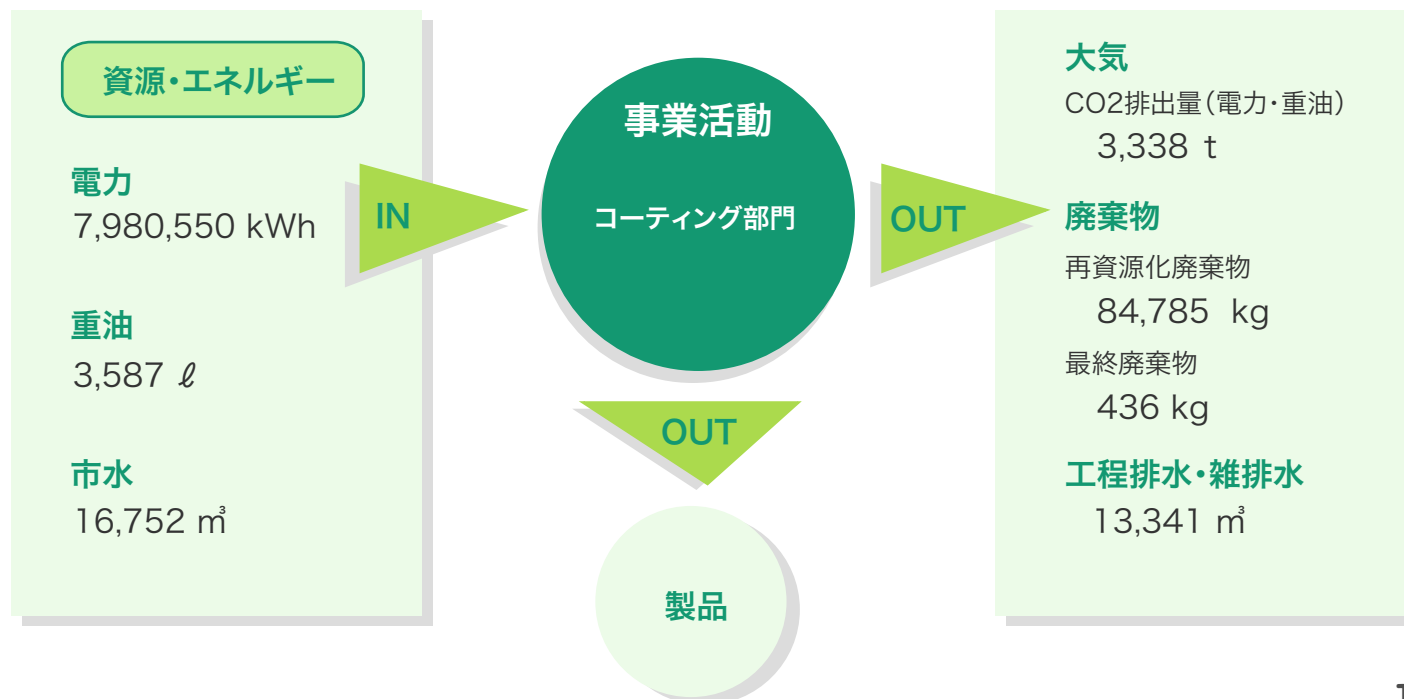
【鶴ヶ浜工場】

光学部品など、製品内で使用する部品の製造や、眼鏡レンズへのコーティングをおこなう工場です。



【東浜工場】

光学フィルターなどのコーティング工場として操業しています。

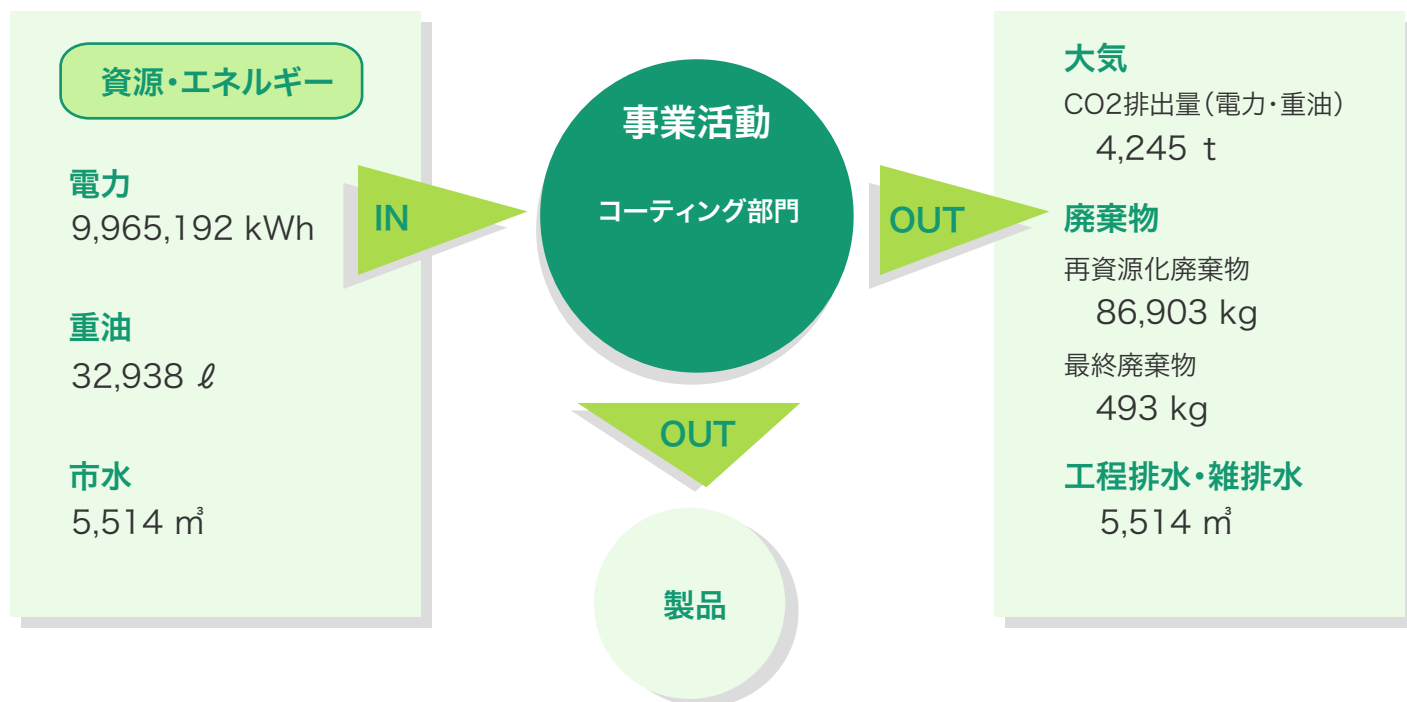




工場の環境負荷概要 大沢工場

【大沢工場】

光学部品や、ディスプレイなどの基板表面へ、反射防止膜をはじめとするさまざまなコーティングをおこなう工場です。真空蒸着によるコーティング工場としては日本最大級の設備を備えています。



三河湾国定公園内「竹島」(愛知県蒲郡市)



2010年度環境パフォーマンス CO2排出量(電力及び燃料)

【使用資源・エネルギー別の排出量】

各資源/エネルギーの使用量をCO2に換算した場合、電力によるCO2排出が大半であることが読み取れます。このことから、当社では、日頃から電力の節約に全社的に力をいれており、その結果、2010年度は前年度と比べ、大きくCO2排出量を削減することができました。



電力

11,036.2 t
(全体の98.0%)



A重油

144.8 t
(全体の1.3%)



ガソリン

52.4 t
(全体の0.5%)



軽油

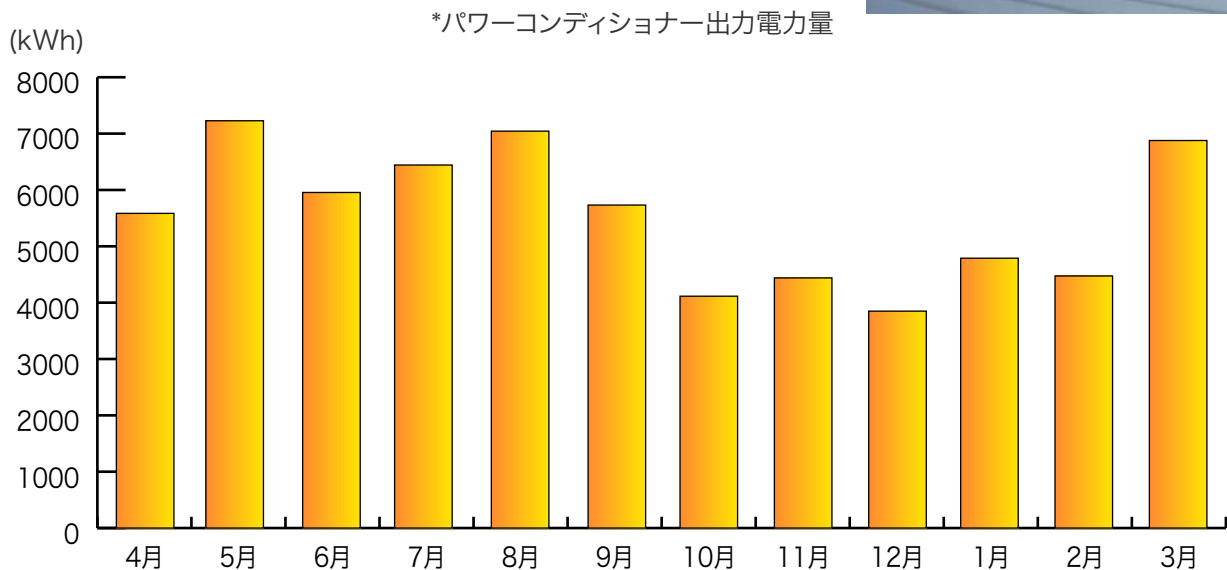
28.3 t
(全体の0.3%)

総計 11261.7 t
前年比 76.8%



参考： 浜町工場太陽光発電量実績

当社は、燃料を使用したCO2の排出量を削減するため、2009年3月から、浜町工場の屋上に太陽光発電システムを導入しました。太陽光発電による電力は、浜町工場の電力の一部として利用しています。2010年度の月別の発電量(*)実績をご紹介します。日照量に応じて変動はありますが、年間平均として、約5,500 kWhの電力を発電しています。





2010年度環境パフォーマンス 廃棄物量／PRTR法対象化学物質使用量

[廃棄物量／再資源化率の月別推移]

当社は、廃棄物のゼロエミッション達成に向け、最終廃棄物の内容分析をし、再資源化率の向上を目指して全社的に活動を展開しています。2010年度は、99%以上の再資源化を6月以外の11ヶ月で達成することができました。

単位：kg

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	合計
有価/再資源	38,223	34,541	35,099	42,325	57,817	39,385	30,942	30,785	37,892	34,861	30,066	34,000	445,936
最終廃棄	229	142	443	144	295	161	235	176	168	102	110	147	2,352
合計	38,452	34,683	35,542	42,469	58,112	39,546	31,177	30,961	38,060	34,963	30,176	34,147	448,288
再資源化率	99.4%	99.6%	98.8%	99.7%	99.5%	99.6%	99.2%	99.4%	99.6%	99.7%	99.6%	99.6%	99.5%



[特別管理産業廃棄物量]

特別管理産業廃棄物は1事業所にて年間50 t以上排出すると、多量排出事業所として行政への報告が必要になります。2008年度には50 tを越えていた鶴ヶ浜工場も、毎月の排出量チェックと削減努力により、2009年度は50 tを下回りました。さらに2010年度には、39 tと、大きく減らすことができました。

	拾石工場	浜町工場	鶴ヶ浜工場	東浜工場	大沢工場	計	対前年比
廃棄物	14,445	124	39,406	14,386	0	68,361	101.6%

単位：kg

[PRTR法対象化学物質使用量]

PRTR法(*)に基づく第一種指定化学物質の2010年度の使用量について、経済産業省への届出対象となる鶴ヶ浜工場の使用量です。

▶ 鶴ヶ浜工場

HCFC-225: 2,100 kg

*特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律



環境調和型製品のご紹介

当社は近年、製品の環境調和に関する専門のチームを設け、環境に配慮した製品の開発に努めています。特に、EU規制(RoHS、WEEE)への適応、および中国版RoHSへの適応を推進しています。2010年度には、3つの環境調和型製品を発売しました。いずれも環境に配慮した設計により、製品の性能や機能性を向上させながらも、環境への負荷低減を実現した製品です。

[2010年度に発売した環境調和型製品]

マルチファンクションエッジャー Me 1200

メガネレンズをフレームの形に合わせて加工する装置です。レンズの周辺を自由に削ることができるほか、レンズに穴を開けたり、縁に溝を掘ったりすることも可能です。2010年にフランスで開催された眼鏡の国際展示会Silmoにて、加工機部門の最優秀製品賞を受賞しました。本体を従来機と比べ約25%軽量化、また小型化し、廃棄物削減、省資源に貢献します。地球に優しく、機能性、操作性も高いことから、国内外のユーザーから高く評価されています。



液晶視力表 システムチャート SC-1600

液晶画面を採用したスリムな視力表です。分解が簡単にできるよう製品設計をおこない、部品の点数を従来機と比べて60%と大幅に削減しました。製品廃棄時に再資源化できる部品も含まれ、環境保全に貢献します。



オートレンズメーター LM-1800

メガネレンズの度数を測るための装置です。従来機と比べ、本体を33%減量化しました。また、使用するネジの数を30%削減するなど、分解が容易な設計を採用し、廃棄物削減や省資源化に貢献します。



製品の環境調和専門部会からのメッセージ

環境調和型製品の創出においては、製品のライフサイクル(製品の材料調達、製造、輸送、使用、廃棄にいたる一連の工程)全体から環境負荷を把握し、さまざまな角度からの改善を進めています。

環境関連法規制への適応はもちろんのこと、環境負荷低減には「製品アセスメント実施規定」を基に、企画・設計段階から負荷低減を考えた活動が重要と位置づけ、開発部門や製造部門と当専門部会が連携し、積極的な改善に取り組んでいます。

具体的には、再資源化が容易な製品材料の選択、部品点数やネジ数の減少、包装資材の少資源化、製品廃棄時における廃棄手順書の提供などです。

今後も環境調和型製品の開発を推進し継続することにより、地球環境の負荷低減に努めていきます。

製品の環境調和専門部会
部会長 嶋崎 寛(品質保証部 部長)



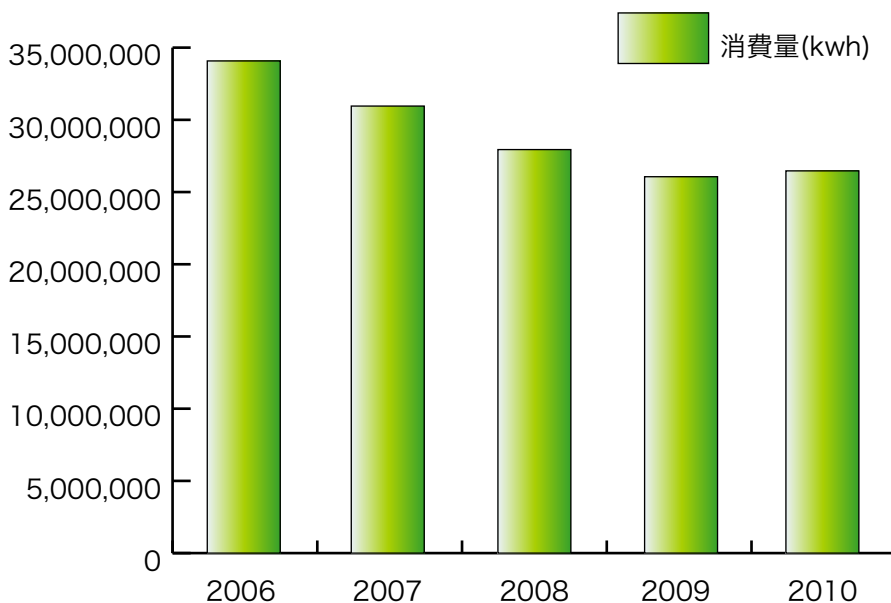
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移

電力／重油

[電力消費量]

電力消費量は、各工場における継続的な省エネ活動の成果が現れ、2008年度には、浜町工場に第二棟を増設したにも関わらず、2009年の電力量は前年より減少しています。2010年度はわずかながら微増しました。

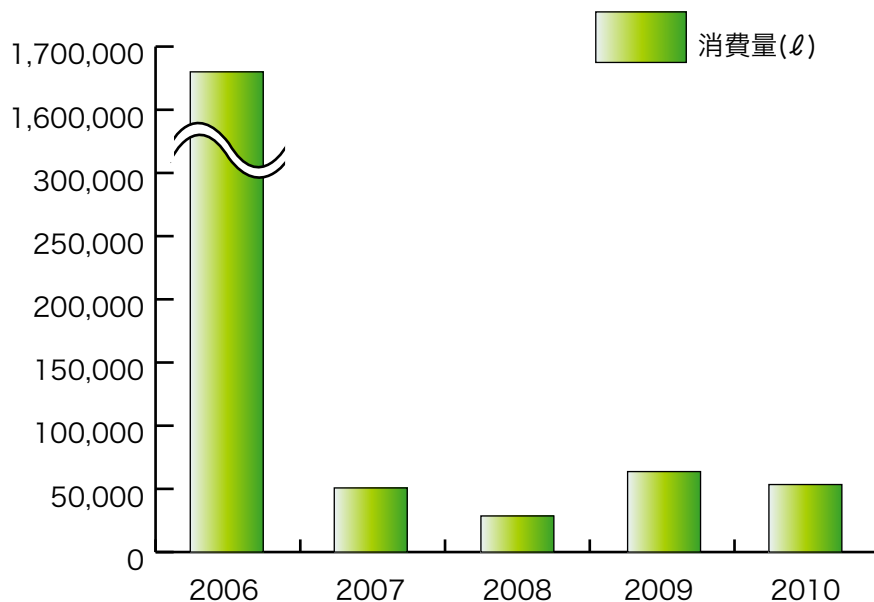
年度	消費量 (kwh)
2006	34,077,863
2007	30,953,822
2008	27,940,659
2009	26,061,446
2010	26,465,755



[重油消費量]

2006年度、暖房用のボイラーから効率の高いヒートポンプ式エアコンに切り替えるとともに、自家発電機の運転を常用運転からピンポイント運転に切り替えたことにより、2007年度以降、重油消費量を大幅に削減することができました。その後、多少の増減は見られるものの、低い水準を維持しています。

年度	消費量 (ℓ)
2006	1,666,042
2007	50,747
2008	28,571
2009	63,686
2010	53,434



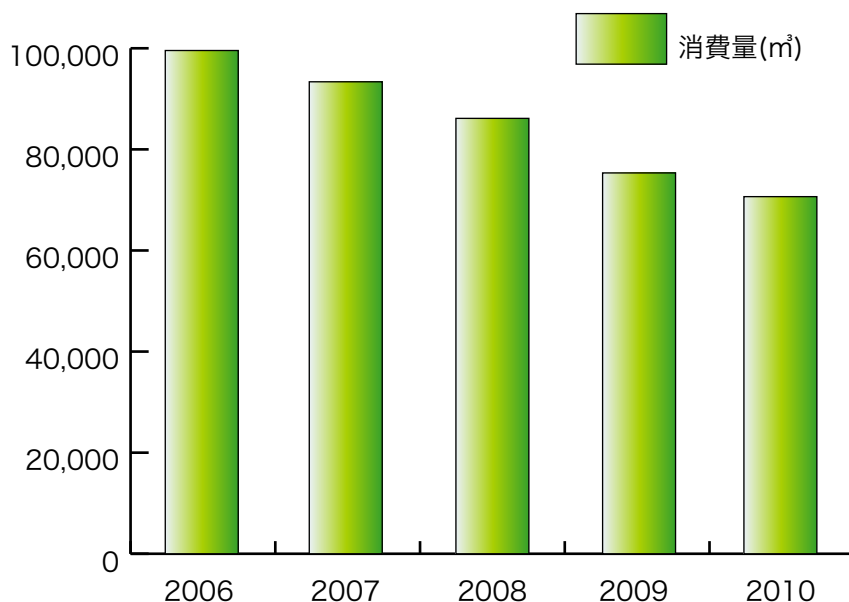


エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移 市水／最終廃棄物

【市水消費量】

コーティング事業の工場における、洗浄過程での効率性向上による節水成果が着実に現れており、市水消費量は年々減少しています。

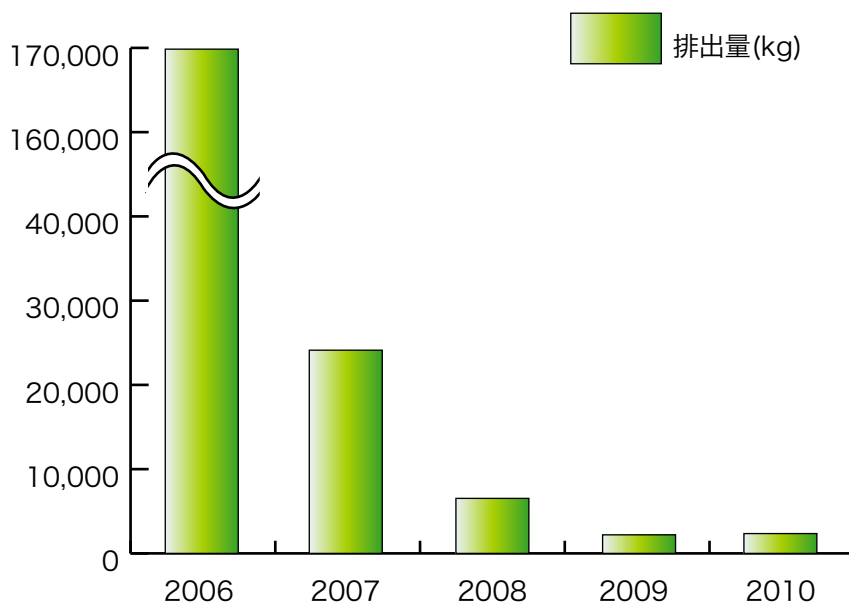
年度	消費量 (m ³)
2006	99,560
2007	93,370
2008	86,134
2009	75,339
2010	70,650



【最終廃棄物排出量】

2006～2008年の3ヵ年計画で「ゼロエミッション」達成を目標に掲げ、全社を挙げて廃棄物の削減や再資源化の努力を続けた結果、排出量の大きく削減に成功しました。

年度	排出量 (kg)
2006	169,852
2007	24,119
2008	6,529
2009	2,201
2010	2,352





CSRに関する取り組み

当社では、企業行動憲章(6ページ)に基づき、CSR(企業の社会的責任)の観点からさまざまな活動を展開しています。エコキャップ運動、地域の美化活動などの環境保全活動や、各種の社会貢献活動に取り組むとともに、社内のコンプライアンス体制強化も図っています。2010年度に当社が実施した活動の一部をご紹介します。

【市内の科学館にて、ワークショップや講演を実施】

目や光学に関する知識、技術を活かした地域貢献活動をおこなっています。2010年8月に、愛知県蒲郡市の「生命の海科学館」が主催する子ども向け科学教室に講師として参加し、CDの廃材を利用して“分光器”を作るというワークショップを開きました。また、同館や市内の小中学校にて、目の健康に関する講演を実施し、地域の方々に好評をいただいています。



【日本点字図書館へ点字図書などを寄贈】

2011年2月に、日本点字図書館への寄付をおこないました。これは、社員による募金金額と同額を会社からも寄付する“マッチング寄付”と呼ばれる活動です。3年目となる今回は、前回は上回る203,984円の寄付が集まり、その結果、DAISY図書(録音図書)と点字図書 各1点(*)が制作されました。



* 今回の寄付による制作図書は次のとおりです。

DAISY図書(録音図書):「見えないけれど観えるもの」(藤井克徳 著、やどかり出版)

点字図書:「ハーモニー」(伊藤計劃 著、ハヤカワSFシリーズ)

【30年以上継続して献血活動へ協力】

創業7年目にあたる1977年以来、30年以上に渡り、社内での献血を毎年2回(春季、秋季)実施しています。その活動を評価され、2010年7月愛知県献血運動推進大会において、「日本赤十字社社長感謝状」を授与されました。

【コンプライアンス研修を定期的に実施】

2010年4月から、毎月、社内でコンプライアンスに関する研修を実施しています。医療機器に関わるメーカーとして、関連する法令の遵守はもちろんのこと、会社全体のコンプライアンス意識を一層向上させるため、専門の委員会を設置し啓発活動を展開しています。





[報告書基本情報]

作成部署： 環境社会貢献部会 / 企画部
報告対象組織： 株式会社ニデック
拾石工場(本社)
浜町工場(研究棟除く)
鶴ヶ浜工場
東浜工場
大沢工場
報告対象期間： 2010年4月1日 ～ 2011年3月31日
発行日： 2011年10月1日

[お問い合わせ先]

企画部 広報課

Tel: 0533-67-6753 / Fax: 0533-67-6610

E-mail: info@nidek.co.jp

※ 当社に関する詳しい情報は、Webサイトをご参照ください。

URL: <http://www.nidek.co.jp>

